

英語に関する豆知識

本日から学年通信も2巡目となります。期末考査や進研模試も終了し、1学期の土曜講座も先週分で終わりとなりました。来週はクラスマッチ、そしていろいろな議論もありましたが、東京オリンピックも開催されます。東京五輪は競技よりもコロナの感染の懸念の方がクローズアップされがちですが、選手はこれまでの競技人生をかけ、人生の大舞台に挑んでいきます。コロナに打ち勝つような、世界が感動するシーンがあると良いですね。

さて、今回の通信ですが、英語教員としてせつかくの機会ですので、英語についての豆知識を記載したいと思います。教科書で勉強しましたが、時計が右回りとなった由来は古代の日時計の影の動き、女性のボタンが左側にあるのはヘルパーがつけやすいように、そして人々が握手を始めたのは兵隊同士が武器に手を伸ばせないこと、そして袖にあった武器を全て取り除くことが由来であると知りました。

今回はこのような英語に関わることを以下のとおり2つほど紹介します。

(1) second が「秒」となった由来。

second はご存じのとおり「2番目」という意味ですが、なぜ「秒」という意味があるのか。古代(ancient times)、時間を表す単語は元々"hour"しかなかったそうです。しかしhourだけでは生活の不便さを感じ、もっと細かい時間の区切りが欲しいということで、minute が生まれました。辞書を見ると、minuteには「細かい」という意味もあります。時が経つにつれ、人々はもっと細かい時間の単位が必要となり、2番目に細かい"second minute"な時間である「秒」が生まれ、second だけが残ったそうです。

(2) station は「駅」だけではない。

"station"の意味は?と聞くと、ほとんどの人が「駅」と答えると思います。しかし 海外で駅はどこですか"Where is the station?"と聞くと、"What station?"と聞き返される場合があるそうです。(もちろん状況により分かることが多いそうですが)。

station とは「特定の業務を行う場所」が本来の意味のようで、電車の乗り降りの業務をする場所が"train station"ということです。そのため、特定業務を行う police station、fire station、power station、gas station (※gasoline stand とは言わない) など、様々な stations が存在します。意味は書かなくても大丈夫ですね?

今回はスペースの関係でこの2つ。またの機会に他にも紹介できればと思います。なお、上記の出典は昔、ダイソーで買った『雑(That's)・英語』です。自身も結構勉強になっています。

月	日	曜	行事予定	FT	課外	備考
7月	19	月		○	A	7:25 登校
	20	火		○	A	7:25 登校
	21	水	クラスマッチ 自分で作るお弁当の日	×		8:15 登校
	22	木	海の日			
	23	金	スポーツの日			
	24	土				
	25	日				
	26	月	特編授業①~④	×	B	7:25 登校
	27	火	特編授業①~④	×	B	7:25 登校
	28	水	特編授業①~③、④オープンスクール準備・大清掃	×	B	7:25 登校
	29	木	特編授業①② オープンスクール 探究説明会	×	B	7:25 登校
	30	金	終業日 心肺蘇生法講習会 13:40-	×	×	8:15 登校
	31	土				